Bearmax

取扱説明書

CDラジオカセットレコーダー／プレーヤー

商品型番：CD-889（シー・ディー）

このたびはBearmax「CDラジオカセットレコーダー／プレーヤー｜CD-889」を
お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をお読み下さい。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

■目次

■安全のために …… 2〜3
■使用上のご注意 …… 4〜5
■お手入れの仕方 …… 5
■主な仕様 …… 6
■セット内容 …… 6
■各部の名称 …… 7〜8
■準備をする …… 9
■CD を聴く …… 10〜11
■ラジオを聴く …… 12
■テープを聴く …… 12
■外部入力を使う …… 13
■テープに録音する …… 13
■故障かな？と思ったら …… 14〜15
■保証とアフターサービス …… 16

© 株式会社クマザキエイム

■安全のために

※本製品は安全に十分配慮して設計されていますが、間違った使い方をすると火災や感電などにより人身事故になる事があり危険です。
※事故を防ぐ為に次のことを必ずお守りください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】
△ の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
⃠ の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。
● の記号は「しなければならない行為」を示します。

⚠ 警告

交流100V以外の電圧では使用しない
自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・故障の原因になります。

コードをコンセントから抜く
雷が近づいたら、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードを傷つけない
コードが破損し、火災・感電の原因になります。

分解禁止
この機器を開けたり、改造しないでください。火災・故障の原因になります。

CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まない
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

水ぬれ禁止
近くに水の入った花瓶などを置かないようにするとともに、水がかかるような場所では使わないこと。水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。

内部に小さな金属類（ヘアピンなど）や燃えやすいものを入れない
火災・感電の原因になります。

ぬれ手禁止
ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないこと。感電の恐れがあります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
傷んだプラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。

雷が鳴ったら屋外で使わない
落雷のおそれがあります。

点検・修理
万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください（有料）。そのまま使用すると火災等の原因になります。

乾電池は同一の新品を使用
仕様の異なる電池や使用した電池を混ぜて使用すると、液漏れにより汚損や故障の原因になります。

⚠ 注意

放熱を妨げない
内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。
背面の放熱孔をふさがないようご注意ください。

ぐらついた台や傾いた所に置かない
落下しケガ・故障の原因になります。

温度の異常に高い場所で使用しない
また、通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災・故障の原因になることがあります。

調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や、油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電・故障の原因になることがあります。

駐車中の自動車内等、高温になる場所で保管しない
樹脂部品が変形する原因になります。

電源コードをコンセントから抜く
長期間ご使用にならない場合、安全と節電のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

電源を切る前には音量を下げる
再度電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になります。

ひび割れ、変形したディスクやハート型などの特殊形状のディスクは使わない
高速回転しますので、飛び散ったり、飛び出したりしてけがの原因になることがあります。
接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので使用しないでください。

電池は正しく取り扱う
・＋ーは正しく入れる。
・長時間使用しないときは取り出しておく。

電池は誤った使い方をしない
・加熱、分解したり、水、火の中に入れたりしない。
・ネックレスなどの金属物と一緒にしない。
・乾電池の代用として充電式電池を使わない
・被覆のはがれた電池は使わない。
※取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより、火災や周囲汚損の原因になります。
・万一液漏れが起こったら、販売店に相談する。
・液が身体についたときは、水でよく洗い流す。
・小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
・火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
・指定された種類以外の電池は使用しない。

■使用上のご注意

CD

●本機で再生できないディスク

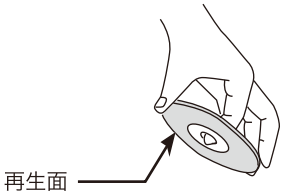
・本機は市販のAudio CDのみ再生することができます。MP3,WAV,WMAなどのファイルフォーマットで録音されたディスクの再生はできませんので、予めご注意ください。

・本機のCDプレーヤーでは音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証はできません。

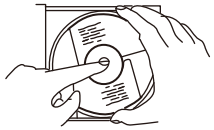
のマークが入ったものをご使用ください。
・本機を持ち運びするときはディスクを必ず取り出してください。入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。
・シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでくだい。ディスクを痛める原因となります。
・再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。
・ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

・ハート形や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となります。

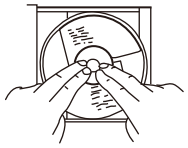
・再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスクまたはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。
・再生面には手をふれないでください。



【ケースから取り出すとき】
センターホルダーを押さえ、再生面に触れないように持って取り出します。

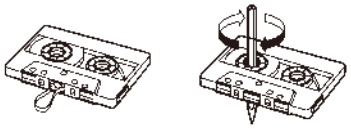


【ケースにしまうとき】
印刷面を上にして上から押さえて入れます。



カセットテープ

・再生中に音が鈍くなったときは、まれに酸化物や異物がテープに付着している場合があります。その場合は、ヘッドクリーニングテープのご使用をおすすめします。その際、磨耗を起こす恐れがありますので、使いすぎにはご注意ください。
・先のとがったもので付着物をはがそうとしないでください。
・テープが緩んでいるとからまり、テープを損傷するおそれがあります。図のように鉛筆などで直してからご使用ください。



・テープの巻きつきがきついと感じるときは、テープの窓に腺が詰まっているように見えます。そのときは、一度テープを早送りして巻き戻ししてください。
・テレビやスピーカーなど、磁気のそばにテープを置かないでください。磁気はテープの感度を下げ、録音を消すおそれがあります。
・温度や湿度が高いところや、ほこりが多い場所には長時間放置しないでください。
・TYPE1（ノーマル）テープをお使いください。クローム／ハイポジション、メタルテープは使用できません。

＜大切な録音を守る-誤消去防止＞
ツメを折ると録音ができなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。
穴をセロハンテープなどでふさげば、再び録音ができます。

＜長時間テープをお使いのときは＞
60分を超えるテープは使用しないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。

＜劣化したテープをお使いのときは＞
古い劣化したテープは使用しないでください。使用時に切れてしまう場合があります。

＜録音時の注意＞
・録音する時は、乾電池ではなく電源コードのご使用をおすすめ致します。
・音量調節ダイヤルを回しても、録音される音量は変わりません。
・取り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをしてください。
・本機の不具合により、録音されなかった場合の録音内容の補償につきまして弊社では責任を負いかねます。

製品共通

・本機のスピーカーには強力な磁石を使っていますので、次のようなものは本機のそばに置かないでください。
●時計
●クレジットカードなどの磁気カード
●カセットテープなどの磁気テープ
・極端な湿度、日差しの強い場所には放置しないでください。
・窓を閉め切った自動車内での放置はしないでください。

＜結露について＞
本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部が結露し、本来の性能を発揮できなくなることがあります。このような場合は、１時間ほど放置後に使用するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

■お手入れの仕方

※クリーニングの前に必ず本機の電源を切ってください。

■本体のお手入れ
乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤の水溶液に浸した布を固く絞って拭いてください。
※ベンジン・アルコール・シンナーなどの化学薬品は使わないでください。（変色や変質の恐れがあります。）

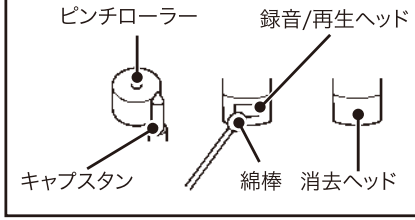
■CDプレーヤー・レンズ部のクリーニング
レンズの汚れが原因で音飛びが起きたり、再生ができなくなった場合にクリーニングをしてください。

◎ゴミやほこりがついた場合
市販のブロワーでレンズを２、３回吹き、ブラシでゴミをはき出します。最後にもう一度ブロワーでレンズを吹いてください。

◎指紋などがついた場合
ブロワーで汚れがとれないときには、市販のレンズクリーナー液を綿棒につけ、レンズの中心から外側に向かって円を描くように拭いてください。
※クリーナー液を綿棒につけすぎないようにご注意ください。クリーナー液が本体内部に流れ込むと、故障の原因になります。
※レンズは軽く拭いてください。綿棒を強く押しつけると、レンズに傷がつくことがあります。

■カセットレコーダー部のクリーニング
カセットテープを良い音でお楽しみいただくために、ヘッド・ピンチローラー、キャプスタン（カセット収納部）をいつもきれいにしておいてください。
これらが汚れていると、音が歪んだり、小さくなったり、録音できない、などの現象が起こります。このようなときは次の手順で清掃してください。

＜カセットレコーダー部＞



■主な仕様

電源	AC100V 50/60Hz	
	DC12V：単2乾電池8本使用	
消費電力	17W	
実用最大出力	4Ω1W + 4Ω1W	
出力端子	ヘッドホン	
入力端子	外部音声	
CD再生対応ディスク	オーディオCD	
ラジオ受信周波数	AM	522～1629kHz
	FM	76～108MHz
動作推奨カセットテープ	Type1 ノーマル（60分以内）	
電池持続時間（約）	CD再生時	15時間
	ラジオ受信時	30時間
	テープ再生時	18時間
最大外形寸法（約）	幅：263 × 高さ：130 × 奥行：245 mm	
アンテナ長（最大）	375 mm	
電源コード長（約）	1550mm	
質量	1.7kg	
生産国	中国	

※商品の仕様および外観は製品の性能改善等のため予告なく変更する場合がございます。

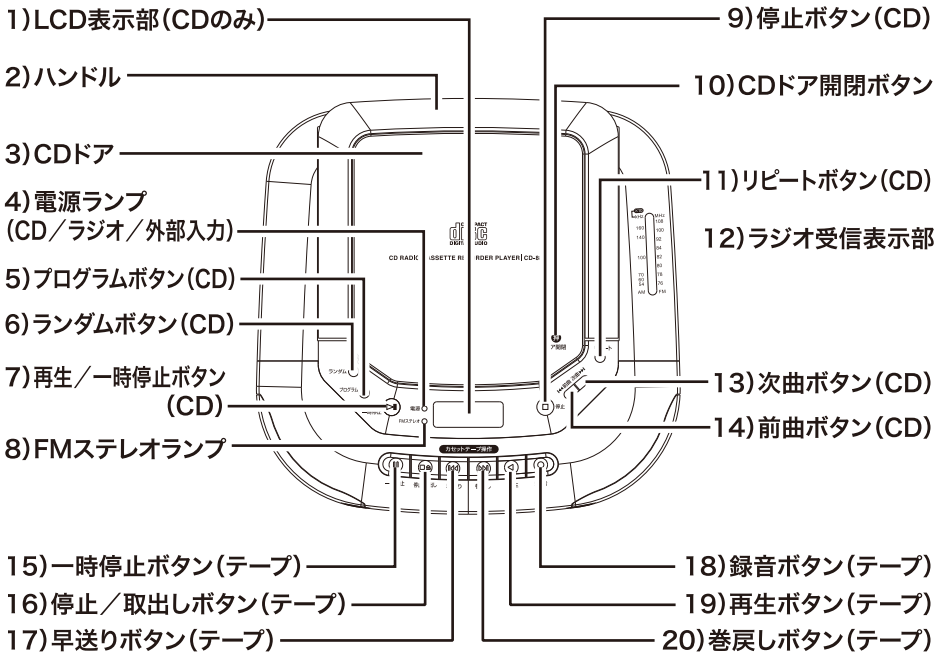
■セット内容

※箱を開封したら、以下の物が同梱されているかお確かめください。

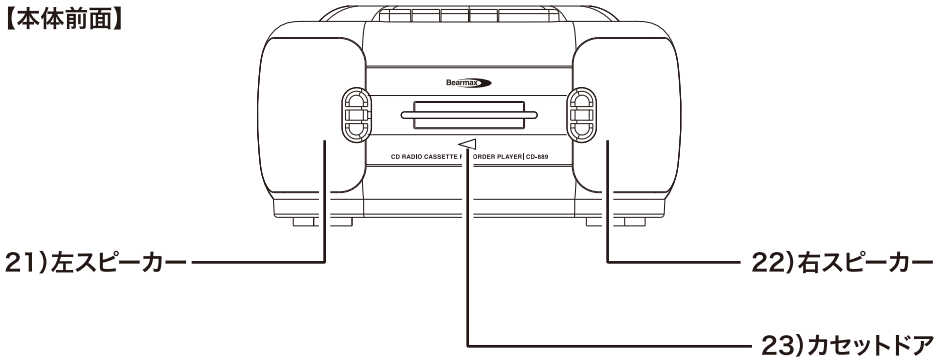
■CD-889本体　■電源コード　■取扱説明書（本誌）

■各部の名称

【本体上面】

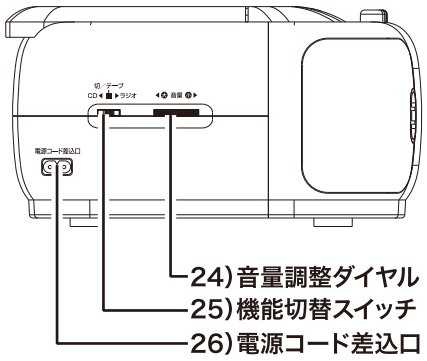


【本体前面】

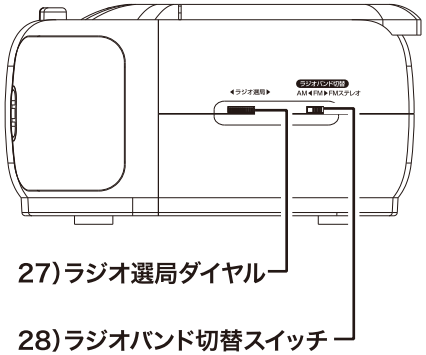


■各部の名称

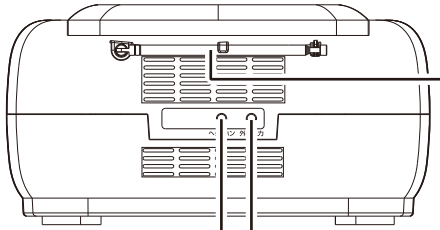
【本体左側面】



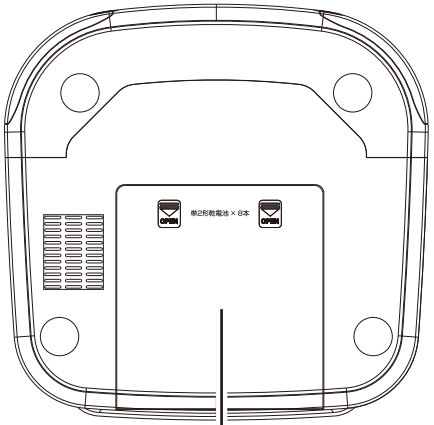
【本体右側面】



【本体背面】



【本体底面】

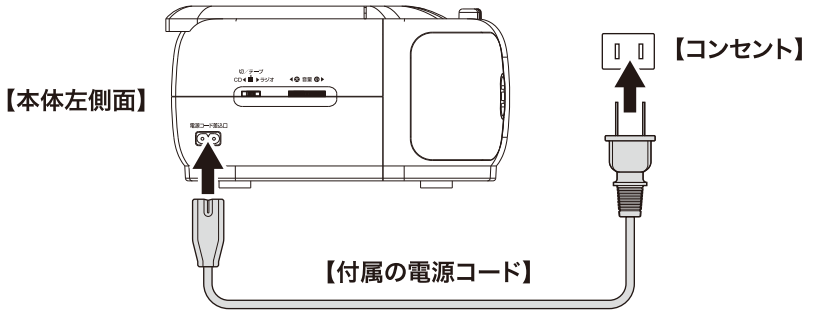


■準備をする

■家庭用コンセントで使用する

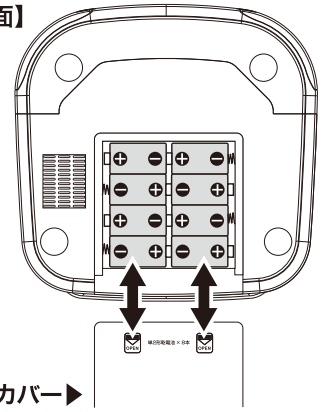
① 付属の電源コードを本体左側面の**26)電源コード差込口**に差込みます。

② 付属の電源コードのプラグをコンセントに差込みます。



■乾電池で使用する

【本体底面】



① 単2形乾電池(別売り)を8個用意します。

② 本体底面の**32)電池カバー**をカバーに記載してある矢印の方向にスライドさせて開けます。

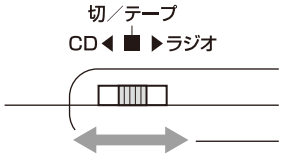
③ 単2形乾電池を挿入します。
※電池のプラス／マイナスの方向をよく確かめて挿入して下さい。

④ **32)電池カバー**を閉じます。

※長時間使用しない時は取出してください。

■電源の入／切と機能切替

上記いずれかの用意ができたら、本体左側面の**25)機能切替スイッチ**で電源を入／切します。



●左に動かすと**【CD】**／**【外部入力】**機能が使えます。

●真ん中で止めると電源**【電源切】**の状態になります。**【テープ】**を使用する場合は、この状態のまま、本体上面にある**【カセットテープ操作】**ボタンで操作します。

●右に動かすと**【ラジオ】**機能が使えます。

■CDを聴く

※本機はAudio CDのみ対応しております。MP3、WAV、WMAなどのファイルフォーマットで録音されたCDの再生はできません。

■CDを再生する

① 本体左側面の**25)機能切替スイッチ**を**【CD】**にあわせます。
② **10)CDドア開閉ボタン**を押し、お好みCDを挿入します。
③ **1)LCD表示部**に総曲数が表示されます。
※ディスクを読込めない場合、**“No**（No disc）**”**や**“ーー”**または**“01”**（曲数が多い場合でも**“01”**）等と表示されます。
④ **13)次曲ボタン**または**14)前曲ボタン**を押し、お好みの曲を選択します。
⑤ **7)再生／一時停止ボタン**を押すと、音楽が再生します。
1)LCD表示部に**“▶”**が表示されます。
※曲選択をせずに**7)再生／一時停止ボタン**を押すと1曲目から始まります。
⑥ 再生中に**7)再生／一時停止ボタン**を押すと、曲が一時停止状態となり、
再度、**7)再生／一時停止ボタン**を押すと、再生します。
一時停止中は**1)LCD表示部**の**“▶”**が点滅します。
⑦ **停止ボタン**を押すと音楽が停止します。
停止した際は**1)LCD表示部**は“項目3”と同じ状態に戻ります。
※再度**7)再生／一時停止ボタン**を押すと1曲目の初めから再生となります。

■リピート機能でCDを聴く

お好みの曲（1曲）／CD（1枚分全曲）を繰り返し再生する事ができます。

① **11)リピートボタン**を一度押すと、1曲リピート（選択された曲を繰り返し）再生します。
画面表示　“REP　1”
② **11)リピートボタン**を二度押すと、全曲リピート(CDに収録されていてる曲を全て繰り返し）再生します。
画面表示　“REP　ALL”
③ **11)リピートボタン**を三度押すと通常再生の状態に戻ります。
画面表示はありません

■ランダム再生でCDを聴く

CDに収録されている曲をランダムに再生する事ができます。
※ 1曲リピートとランダム機能を併用すると一曲リピート機能を優先します。
※ ランダム再生中はプログラム機能を併用する事ができません。

① **6)ランダムボタン**を一度押すと、**2)LED表示部**に“**RAN**”と表示され、曲順をランダムに再生します。
② 再度**6)ランダムボタン**を押すと、**2)LED表示部**の“**RAN**”が消え通常の再生に戻ります。
③ ランダム再生中に**9)停止ボタン**を押すと、**2)LED表示部**の“**RAN**”が消え、音楽も停止します。

■プログラム機能でCDを聴く

最大20曲までの曲順を記録しプログラム再生をする事ができます。
※プログラム再生中はランダム再生を併用する事ができません。
※1曲リピートとプログラム機能を併用すると一曲リピート機能を優先します。

① 本体停止中にプログラムボタンを押します。
2)LED表示部に“**PROG**”が点滅表示され、“**01**”の数字が点滅します。
※本体再生中はプログラムのセッティングはできません。
※約20秒間放置しますと（何もボタンを押さない状態）自動的に“**PROG**”の点滅が消え通常再生の状態に戻ります。
② **13)次曲ボタン**または**14)前曲ボタン**を押すと、“**01**”の点滅が止まり、1曲目のセッティングが始まります。※“**PROG**”は点滅のままです。
③ **13)次曲ボタン**または**14)前曲ボタン**を押し、お好みの曲に合わせます。
④ プログラムボタンを押すと1曲目の設定が終わり、“**02**”の点滅が始まります。
⑤ 1曲目同様に**13)次曲ボタン**または**14)前曲ボタン**を押すと、“**02**”の点滅が止まり2曲目のセッティングが始まります。※“**PROG**”は点滅のままです。
⑥ お好みの曲順の設定が完了しましたら、**7)再生／一時停止ボタン**を押し、音楽を再生します。**2)LED表示部**右上部に“**PROG**”があれば設定完了です。
⑦ 別のプログラムで再生をする場合は、一度**9)停止ボタン**を押し再生を終了させた後、もう一度 **5)プログラムボタン**を押し、手順1から設定を行って下さい。
⑧ プログラム再生を終了させるには、一度**9)停止ボタン**を押し、再生を終了させた後、もう一度 **9)停止ボタン**を押して下さい。 画面右上の“**PROG**”が消えプログラム再生を終了します。

■ラジオを聴く

① 本体左側面の**25)機能切替スイッチ**を**【ラジオ】**に合わせます。

② 本体右側面の**28)ラジオバンド切替スイッチ**で**【FM】**／**【FMステレオ】**あるいは**【AM】**に合わせます。
※**8)FMステレオランプ**は**【FMステレオ】**の時のみ点灯します。

③ **27)ラジオ選局ダイヤル**を使い、聴きたい局に合わせます。

④ **25)機能切替スイッチ**を**【テープ】**に合わせると、電源が切れます。

受信状態を良くするには

電源に**乾電池を使う**とノイズの影響を受けにくく、受信状態が良くなります。
●**FMラジオの場合**：**29)FMアンテナ**を伸ばし、向きを変える。
●**AMラジオの場合**：本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。

■テープを聴く

※本機はTYPE1（ノーマル）テープ専用です。また60分以内のテープを推奨しています。

① 本体左側面の**25)機能切替スイッチ**を**【テープ】**に合わせます。

② **16)停止／取出しボタン**を押し、**23)カセットドア**を開けます。

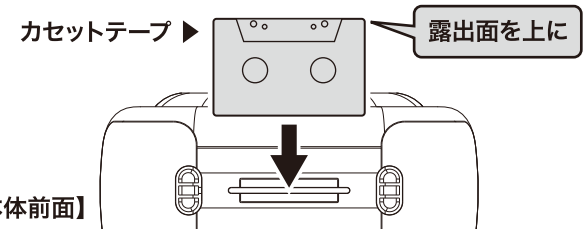
③ カセットテープを入れます。※必ずテープ露出面を上にして下さい。（**図①**参照）

④ **19)再生ボタン**を押し音楽を再生します。

⑤ **17)早送りボタン**や**20)巻戻しボタン**を押し、お好みの場所から再生できます。
※再生したい所までテープを巻き終えたら、**16)停止／取出しボタン**を押して、早送り／巻戻しを解除します。

⑥ **16)停止／取出しボタン**を押して、再生を止めます。
※テープを最後まで巻き取ると、自動的に停止します。

⑦ **16)停止／取出しボタン**を押して、**23)カセットドア**を開け、テープを取り出します。



図①／【本体前面】

■外部入力を使う

外部入力端子を使い、他のオーディオ機器の音をスピーカーから出力させる事ができます。

① **25)機能切替スイッチ**を**【CD】**にあわせます。
② **1)LCD表示部**が点灯します。
③ オーディオケーブル（別売）を本体背面の**31)外部入力端子**に接続します。
④ **1)LCD表示部**が消灯します。
⑤ 外部の機器を再生すると本機のスピーカーから音が出力します。

■テープに録音する

※本機はTYPE1（ノーマル）テープ専用です。また60分以内のテープを推奨しています。

■ラジオを録音する

① **25)機能切替スイッチ**を**【ラジオ】**にあわせて、録音したい局を受信させます。
② カセットテープを入れます。※必ずテープ露出面を上にして下さい。（P.12 **図①**参照）
③ **18)録音ボタン**を押す。
④ **16)停止／取出しボタン**を押すと録音を終了します。

■CDを録音する

① **25)機能切替スイッチ**を**【CD】**にあわせます。
②「**P.9 CDを聴く**」の手順に沿ってお好みのCDを準備します。
③ カセットテープを入れます。※必ずテープ露出面を上にして下さい。（P.12 **図①**参照）
④ CDを再生させると同時に**18)録音ボタン**を押す。
※**19)再生ボタン**も一緒に下がります。
⑤ **16)停止／取出しボタン**を押すと録音を終了します。

■外部入力音声を録音する

①「**本ページ上段 外部入力を使う**」の手順に沿って外部音声機器を準備します。
③ カセットテープを入れます。※必ずテープ露出面を上にして下さい。（P.12 **図①**参照）
④ 外部機器を再生させると同時に**18)録音ボタン**を押す。
※**19)再生ボタン**も一緒に下がります。
⑤ **16)停止／取出しボタン**を押すと録音を終了します。

※テープ録音に関しましては、「**P.5 使用上のご注意**」も併せてご参照下さい。

■故障かな？と思ったら

お客様ご相談センターにご相談になる前に、もう一度下記の内容をご確認ください。
ご不明な点があるときは、保証書にある総発売元へお問い合わせください。

製品共通

電源が入らない	・電源コードをコンセントにしっかり差し込んで下さい。 ・電源コードを本体にしっかり差し込んで下さい。 ・乾電池が正しく入っているか確認して下さい。 ・乾電池をすべて新しいものと交換して下さい。
音が出ない	・音量を調節して下さい。 ・スピーカーで聞くときは、ヘッドホンをヘッドホン端子から抜いて下さい。
雑音が入る	・携帯電話などを本機から離して使用して下さい。

CD部

演奏が始まらない	・CDドアが閉まっていることを確認して下さい。 ・乾電池が消耗していたら、新しいものと交換して下さい。 ・文字のある面を上にCDをセットして下さい。 ・CDのクリーニングを行って下さい。 ・レンズに水滴がついている場合→CDを取り出してCDドアを開けたまま１時間くらい置いてからご使用下さい。
音がとぶ／雑音が入る	・CDのクリーニングを行って下さい。 ・CDに傷がある→CDを取り換える。 ・振動のない場所に置いてご使用下さい。
no が表示される	・文字のある面を上にCDをセットして下さい。

ラジオ部

雑音が入る	・周波数を正しく合わせて下さい。 ・アンテナの向きを調節して下さい。（FM受信時） ・本機の向きを調節して下さい。（AM受信時） ・液晶テレビ、携帯電話等、電波を発生する機器を本機から離して下さい。

カセットテープ部

テープが入らない	・テープの露出面を上にして入れて下さい。
テープが回転しない	・テープをカセットデッキに正しく入れて下さい。
テープが機械に巻きつく	・市販のヘッドクリーナーでピンチローラーやキャプスタンを掃除してください。 ・テープの弛みを直してからご使用下さい。 ・古いテープは絡まり易くテープにダメージを与えますのでご使用にならないで下さい。 ・60分以上のテープはご使用にならないで下さい。
早送り・巻戻しが遅い／回転むらがある	・テープの回転具合を確認し、回転の重いテープは使用しないで下さい。
再生音が小さい 音が割れる 高音が出ない 雑音 音が震える 音が飛ぶ	・市販のヘッドクリーナーでヘッドを掃除してください。 ・新しいテープと交換してください。
録音状態にならない	・カセットデッキにテープが入っているか確認ください。 ・誤消去防止用ツメが折れている⇒ツメのついているテープと交換をするか、セロハンテープなどでツメの穴を塞いでください。 ・市販のヘッドクリーナーで消去ヘッドを清掃してください。 ※無理に録音ボタンを押すと破損の恐れがあります。
前に録音されている音が完全に消えない	・TYPE1（ノーマル）テープをお使いください。クローム／ハイポジション、メタルテープは使用できません。